

# 第6回国際保健医療行動科学会議

ICHBS2010

## 持続可能なヘルスプロモーションに向けて well-beingのケアとhuman securityの環境についての対話

2010年9月19日(日)~21日(火) マレーシア・マラヤ大学

### 目的

学際的に地球規模レベルから地域レベルまでの持続可能なヘルスプロモーションについてのホリスティックな議論

健康の環境を文脈にしたウェルビーイングとヒューマン・セキュリティについての「気づき」と「行動変容」

さまざまな文化的・宗教的な背景から、医師、看護師、保健師、助産師、介護福祉士、社会福祉士、カウンセラー、教育者との国際的対話



2010年9月19日(日) [会場: マラヤ大学(クアラルンプール)]

招待講演: 「持続可能なヘルスプロモーションの実現のために 地球規模の公共保健政策とその挑戦」 D. マーサー(タイ/ユネスコRUSHAP)

招待講演: 「アポリジニ女性のための健康と癒しに関するナラティブ・セラピーの実践」 B. ウィンガード(オーストラリア/Murray Malleeコミュニティ保健サービス)

基調講演: 「持続可能なヘルスプロモーションのために ヘルスケアの環境をめぐって」 谷口文章(日本/日本保健医療行動科学会 会長)

基調講演: 「生命倫理をめぐる科学と宗教との対話」 A. バハルディン(マレーシア/マラヤ大学CCD所長)

シンポジウム: 「グローバル・ヘルスプロモーション ウェルビーイングのケアとヒューマン・セキュリティの環境についての対話」

コーディネーター: A. バハルディン・谷 莊吉(日本/高齢者ケアセンター 甲南診療所所長)

シンポジスト:

「ウェルビーイングと宗教」 W. アハマッド(マレーシア/マラヤ大学医学部)

「災害とヒューマン・セキュリティ」 B. バンヤヨン(タイ保健省メンタルヘルス局)

「人災とPTSD」 元村直靖(日本/大阪医科大学)

「対話的ナラティブ・アプローチをもとめて」 B. ウィンガード

「ウェルビーイングと健全な環境のためのグローバルな架橋の構築」

H. チジン(インドネシア/ハムカ大学)

2010年9月20日(月・祝)

招待講演: 「マレーシアにおける医療問題と保健医療政策」

H. ラーマン(マレーシア保健省)

招待講演: 「アジアにおける発展途上国の衛生・穀物・水をめぐって」

清水芳久(日本/京都大学)

ワークショップ:

「宗教的催眠療法」モデレーター: 守本とも子(日本/岐阜医療科学大学)

「ユナニ(イスラム)医学」モデレーター: 吉岡隆之(日本/神戸市看護大学)

「ナラティブ・アプローチ」中川 晶(日本/大阪産業大学)

2010年9月21日(火)

国際セミナー

午前

基調報告: 「マレーシアにおけるHIV/AIDS患者のための公共サポートとケア コミュニティ・エンパワメントの視座より」 A. カマルーザマン(マレーシア AIDS審議会・委員長)

基調報告: 「外国人の健康問題 日本における定住外国人のHIV感染予防・治療・ケアをめぐって」 仲尾唯治(日本/山梨学院大学)

午後

HIV/AIDSセンター視察(クアラルンプール市内)

2010年9月22日(水)~24日(金)

現地調査研修ツアー: エンダウ・ロンピン国立公園(カンボン・ペタ) Jakun Peopleのライフスタイル・民間療法・宗教儀式などの視察研修

国際会議に関するお問合せ

第6回国際保健医療行動科学会議実行委員会事務局

〒658-8501 神戸市東灘区岡本8-9-1

甲南大学文学部 谷口研究室 気付

TEL/FAX: 078-435-2368 E-mail: fumiaki@konan-u.ac.jp

国際会議申込手続き(発表申込締切7月20日 参加登録締切9月3日 当日参加可)

[http://kankyo-institute.lit.konan-u.ac.jp/~taniguchi/ichbs2010/ichbs\\_guide.html](http://kankyo-institute.lit.konan-u.ac.jp/~taniguchi/ichbs2010/ichbs_guide.html)

参加費: 一般会員 25,000円 学生会員 20,000円 非会員 27,000円  
(渡航費・宿泊費・食費は下記参照)

航空チケットおよび宿泊に関するお問合せ

JTB三洋航空サービス 岡本営業所 担当: 三好克也

〒658-0072 神戸市東灘区岡本1-7-8 阪急岡本駅南1F

TEL: 078-411-8700 FAX: 078-411-8706

共催: マラヤ大学 Centre for Civilisational Dialogue 甲南大学環境総合研究所  
協力: 京都大学 GCOEプログラム「アジア・メガシティの人間安全保障工学拠点」,  
マラヤ大学 Centre for Excellence for Research in AIDS, ユネスコ Regional  
Unit for Social and Human Sciences in Asia and the Pacific (RUSHAP), マラヤ  
大学 Sustainability Science Research Cluster

後援: マレーシア国立ユネスコ委員会, マレーシア教育省, 日本保健医療社会学会,  
日本精神保健社会学会, ヘルスカウンセリング学会, 日本予防医学協会, 日本統合  
医療学会, 特定非営利活動法人日本ホリスティック医学協会, 日本医師会, 日本歯  
科医師会, 日本看護協会, 日本ホリスティック・ナースィング研究会, 日本看護科学学  
会, 日本ホスピス在宅ケア研究会, 在宅ケアを支える診療所全国ネットワーク, アジア・  
太平洋地球変動研究ネットワーク, 日本禁煙科学会, 日本質的心理学会

主催

日本保健医療行動科学会

